

指定管理施設（総合福祉センター）事業評価表
障害者福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H24年度	H25年度							
知的障害者 サービス事業	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・教室の内容は利用者の話し合いにより決めていく。 ・調理実習は、家庭でも出来る様な物を選び、自立生活に向けてのスキルアップに繋げていく。 ・クリスマスのプレゼント、昼の弁当等をデパート、コンビニなどに買いに行く。 ・切り絵・手芸・作品展用作品作り等行う。 ・道の駅・花見・犬山城下町等へ行く。 ・ビーンボウリング・輪投げ・卓球・公園散策を行う。 ・新規の利用者がないうえに、以前からの利用者が高齢化しており、利用者数が減少傾向である。(現在の利用者 6人 平成23年度 43回 409人)
		がんばろう会 ・家事訓練 ・社会適応訓練 ・創作活動 ・外出訓練 ・スポーツ活動	43	毎週月曜日 午前	・仲間の話し合いにより教室の内容を決めていく。 ・買物から実施をすることにより食の大切さを知るとともに簡単な作り方を覚え、家庭でできるようにする。 ・社会のルールを体験する。 ・通常の事業として仲間作り、創作活動・レクリエーション等を実施。 ・屋外活動の体験をする。 ・スポーツを通じて体力増進を図る。	4	4	44	400	43	315	△ 1	△ 85	
		小計	43	—	—	—	—	44	400	43	315	△ 1	△ 85	
			回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・24年度の終わりに先生が変わり教室も新しい雰囲気となる。 ・通常のダンスに加えて、ボールやゴムを使用 してのダンスを取り入れて、単調な動きになら ないようにした。 ・利用者の高齢化に伴い、体力だけでなく気 力・やる気も減少傾向にあるため、皆の興味 を引くような内容を検討したり、それぞれの体 力にあわせたダンスを実施していく。
		・レクリエーションダンスを1年を通して講師の指導で実施	19	隔週第2・4月曜日 午後	・体を使って、自分の中にあるエネルギーを思いっきり発散する。 ・同じ目的に向かって仲間と行動する。 ・みんなに観ていただくことで達成感を得る。	4	4	19	94	19	85	0	△ 9	
		小計	19	—	—	—	—	19	94	19	85	0	△ 9	
		計	62	—	—	—	—	—	63	494	62	400		
視覚障害者 サービス事業	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・利用者の高齢化が進み参加できない利用者も もてできた。体力的にも検討が必要。 ・参加者も減少してきている。(現在の利用者 4人)
		視覚障がい者対象卓球教室 (サウンドテーブルテニス)	42	毎週水曜日午前(第4週を除く)	スポーツを楽しむ機会の少ない視覚障がい者の方が仲間と一緒に楽しんで健康の維持増進を図る。	4	4	35	142	42	151	7	9	
		小計	42	—	—	—	—	35	142	42	151	7	9	
			回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・外出する機会を増やすために第4週水曜日を1日の教室とし、公園散策や買物の外出としている。 ・利用者の高齢化のため減少傾向にあり、利用者の増加が課題である。(現在の利用者 6人)
		かがやき ・買物等外出 ・家事訓練 ・創造的活動等	28	第2水曜午前第4水曜1日	視覚障がい者の社会参加、友達作り、精神的安定を図る。	4	4	24	207	28	175	4	△ 32	
		小計	28	—	—	—	—	24	207	28	175	4	△ 32	
		計	70	—	—	—	—	—	59	349	70	326		

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H24年度	H25年度							
重度身体障害者 デイサービス事業	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	・利用者、家族共に高齢化が進んできている。今後相談支援事業所と連携をしながら進めていく。(現在の利用者 8人) ・利用者全体で教室の内容を決めている。徐々に自分の意見を発言できるようになってきているが、まだ、職員のサポートが必要である。 ・通常は、コンビニ等近場で昼食を買うなどしている。年に1回は遠出をする。
		ふれあい教室 ・個別指導 ・社会適応訓練 ・家事訓練 ・創作活動等	51	毎週木曜日	・重度心身障がい者及び重度重複障がい者がボランティア・職員とともに自己実現に向け話し合い実現していく。 ・意欲と能力に応じて生き生きとした生活を送れるよう支援する。 ・自立支援や仲間作りをする。	4	4	48	683	51	733	3	50	
		小計	51	—	—	—	—	48	683	51	733	3	50	
		計	51	—	—	—	—	48	683	51	733			
(創造的活動) デイサービス事業	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		俳句教室	24	第1・3火曜午前	自分の気持ちを俳句で表現することにより自分を見つめなおす事を目的とする。	4	4	23	223	24	254	1	31	・利用者ののはげみとなるよう、文芸祭等いろいろな作品展に出品している。今後も多くの作品展に出品していく。
		絵手紙教室	23	第2・4火曜午後	いろいろな画材を、送る相手の事を思って描くことにより、相手と自分に思いやる心を育てる。	4	4	24	159	23	222	△ 1	63	・2人の講師の運営で利用者に戸惑いが出るのではないかと懸念していたが、順調に運営されてきた。 ・2人の先生の都合により25年度で廃止。
		切り絵教室	24	第2・4金曜午前	自由に切り絵を描くことにより自分の気持ちを表現する。また、指先のリハビリにつなげる。	5	4	23	265	24	293	1	28	・特別な講師はなく職員が対応。利用者同士、利用者と職員和気あいあいと行う。利用者の評判も良好。
		ちぎり絵	23	第2・4火曜午後	誰でも参加できる簡単な画材から始め、表現力と指先のリハビリにつなげる。		4			23	161	23	161	・25年度より新規実施。
		パソコン教室		第2・4火曜午前	IT社会に対応する、また、指先の機能訓練を目的に実施。	4		24	112			△ 24	△ 112	・25年度は単発行事(障害者センター事業)で年2回実施。
		水墨画・習字教室	21	第1・3金曜午後	脳梗塞により片麻痺になられた先生に付き、ハンディがあっても行動する大切さを学ぶ。	4	4	23	183	21	158	△ 2	△ 25	・25年度より利用者ニーズに合わせ水墨画に加え習字を行うこととし、より幅広い利用者に対応。(第1水曜日 水墨画 第3水曜日 習字)
		小計	115	—	—	—	—	117	942	115	1,088	△ 2	146	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H24年度	H25年度							
デイサービス事業 (身体維持等)	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
		音楽療法	24	第1・3火曜 午後	精神的安定と嚥下機能の向上。	4	4	23	192	24	231	1	39	・障がい者を問わず参加できるため障がいを越え交流できている。発表の場を作ることでやる気と自信を養っていく。
		風船バレー	21	第1・3金曜 午前	楽しみながら身体を動かし運動不足の解消と身体機能の維持を図る。	4	4	23	119	21	146	△ 2	27	・25年度より名前をスポレクから風船バレーに変えたとともに、片麻痺対象教室から全障がい者対象とした。
		機能訓練教室(軽スポ)	22	第1・3水曜 午後	理学療法士の指導のもと専門的に身体機能の維持を図る。	5	5	23	202	22	191	△ 1	△ 11	・ゲーム感覚で楽しい中にも理学療法士のプログラムによる専門的な内容となっている。
		ヨガ教室	24	第2・4金曜 午後	自分に合った動きと呼吸により、身体機能の維持と精神の安定を図る。	4	4	23	303	24	280	1	△ 23	・高齢化に伴いマットでのヨガが出来なくなってきた利用者も出てきている。参加者も多いため、椅子で行う教室とマットで行う教室に26年度より分けて行う。
		小計	91	—	—	—	—	92	816	91	848	△ 1	32	
障害者センター事業			回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	実施回数 (回)	参加延べ 人数(人)	
	1	障がい者レクリエーション交流会	1	6月8日	誰でも参加できる軽スポーツで障がい者、介護者、ボランティアの交流を図る。	5	5	1	102	1	93	0	△ 9	・25年度から、開催時期を秋から春に変更。1年に1回集まる行事として良い交流の場になっている。 ・秋は行事が多いため、春に変更。
	1	障がい者バスツアー	2	7月6日 3月1日	日ごろ外出する機会の少ない障がい者の方に外出する機会を提供し、家族や友人、ボランティアさんと一日を楽しく過ごす。	4	4	1	57	2	111	1	54	・利用者に好評のため、25年度より年2回実施にする。26年度より2回のバスツアーを指向の違う形で実施する予定。
	2	講師、ボランティア意見交換会	1	3月29日	講師、ボランティア、職員の意見を交換し事業の向上をめざす。	4	4	1	14	1	20	0	6	・講師やボランティアの意見を聞く良い機会となっていると共に、講師、ボランティア、職員の良い交流の場となっている。
	2	土曜教室(フレンド)	6	第3土曜	障害者事業所を利用している方の余暇活動と仲間作りの機会を提供する。		4			3	18	3	18	・25年12月より開始。啓発活動で広めていくことか当面の課題。 ・仲間づくりのため、他の事業に参加していない方も対象とする。
	1	七夕	1	7月2日～8日	伝統、文化の継承と利用者の話題作り。	4	4	1	25	1	25	0	0	・自分の願いごとを短冊に書くことにより自分が何を求めているか見つめ直す事が出来る。
	1	クリスマス会	1	12月21日	楽しみ作り及び仲間作り。	4	4	1	9	1	8	0	△ 1	・啓発活動をし参加者を増やす。
	1	陶芸教室	1	4月6日	4月に昭和村で行うことにより花見も兼ね1日ゆっくりと過ごし、楽しみ作りと仲間作りにつなげる。		4			1	22	1	22	・当日は天候が悪く残念であったが、参加者が思ったより多く、参加者は楽しめたと思われる。 ・単発事業

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H24年度	H25年度							
障害者センター事業	1	リハビリ指導	96	毎週水・金曜日	鍼灸マッサージ師によるマッサージの身体リハビリ	5	5	93	683	96	593	3	△ 90	・水、金曜日の午前の教室の利用者が対象となっている。日ごろ障害者センターの利用がない方の利用を促進したい。
		小計	109	—	—	—	—	98	890	106	890	8	0	
厚生相談	1			回数	実施日			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・障害者センター以外の方の相談は減少傾向にある(障がい者の相談支援事業所が多治見市にも増えてきている影響もあるのではないかと)が障害者センター利用者の生活相談は多くある。
		一般相談		随時	随時	5	4	39	39	21	21	△ 18	△ 18	
		小計	0	—	—	—	—	39	39	21	21	△ 18	△ 18	
啓発活動	1			回数	実施日			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	・幼稚園、保育園、児童センター、学校等の児童、学生の体験講座を重点的に行い福祉や障がい者への関心を持てるよう行っている。 ・以前は、福祉講座を開催していたが、参加者が少ないため、出前講座に変更。(平成23年度 256人)
		福祉体験		随時	随時	4	5	8	287	10	393	2	106	
		小計	0	—	—	—	—	8	287	10	393	2	106	
		計	498	—	—	—	—	524	4500	526	4699	2	199	—

（留意事項）※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等でない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 1:取消等を検討、2:不備が目立つ、3:若干不備あり、4:良好、5:期待以上

「年度評価欄」のH25年度平均は、仕様書に定める事業が4.2、自主事業が4.00

年度評価(平均)	15点満点換算後	評価	評価の例(仕様書で定められた事業の場合)
4.9以上	15	仕様書以上 期待以上	4が2個、5が20個…平均4.9
4.7以上4.9未満	14		4が4個、5が18個…平均4.8
4.5以上4.7未満	13		4が8個、5が14個…平均4.6
4.3以上4.5未満	12		4が13個、5が9個…平均4.4
4.0以上4.3未満	11	仕様書に忠実 例年通り	4が17個、5が5個…平均4.2
3.7以上4.0未満	10		3が2個、4が20個…平均3.9
3.4以上3.7未満	9		3が8個、4が14個…平均3.6
3.1以上3.4未満	8	仕様書の一部不実施(軽微) 例年よりやや劣る	3が15個、4が7個…平均3.3
2.8以上3.1未満	7		2が2個、3が20個…平均2.9
2.6以上2.8未満	6	仕様書の一部不実施(中程度) 例年より劣る	2が6個、3が16個…平均2.7
2.4以上2.6未満	5		2が10個、3が12個…平均2.5
2.2以上2.4未満	4		2が15個、3が7個…平均2.3
2.0以上2.2未満	3		2が19個、3が3個…平均2.1
1.5以上2.0未満	2	それ以下 例年よりかなり劣る	1が2個、2が20個…平均1.9
1.5未満	1		1が10個、2が12個…平均1.5

指定管理施設(総合福祉センター)事業評価表
 太平老人福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H24年度	H25年度					
いきが いづくり、 教養講座 運営事業	1	パソコン教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	初級と中級コースについては、継続受講者が多く、参加人数は安定している。しかし、上級(レベルアップ)コースともなると、敷居が高くなる印象のせいかな敬遠ぎみとなり、参加者が少なくなっている。参加しやすかつ魅力ある内容にしていく必要がある。
		初級コース	10	48	毎週月曜日	いきがいづくりとして就業や生活に役立つ技術を身につけてゆく。	4	4	48	458	48	506	
		中級コース	10	48	毎週木曜日				48	433	48	518	
		上級(レベルアップ)コース	10	48	毎週金曜日				48	449	47	320	
		小計		144	—	—	—	—	144	1,340	143	1,344	
		その他教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	いずれの教室も定員に達しており、参加者は安定している。 唱歌教室は、平成25年度より男性向けの「おじんの唱歌教室」として発足し、現在も参加者は増えつつある。 詩吟教室は、講師の都合により月4回から月2回へ開催回数が減った。 わいわい教室は、職員が講師となって毎回高齢者が楽しめる企画を考えている(体操、折り紙、小物作りなど)。教室の縛りが無く、自由な雰囲気であるため、楽しみにしている利用者も多い。 麻雀教室は年々関心が高まっており、定員は設定していないが登録者数は40名。平成25年度から初心者向けの麻雀教室も開始している。
		水彩画教室	15	24	第2・4月曜日	趣味や教養の向上を目的とするとともに、楽しく充実した生活が送れるよう、仲間作りの場を提供する。	4	4	24	208	25	226	
		絵手紙教室	25	24	第2・4火曜日		4	4	24	409	24	349	
		習字教室	15	24	第1・3水曜日		4	4	22	314	24	274	
		編物教室	15	24	第2・4水曜日		4	4	24	311	24	258	
		唱歌教室	100	24	第2・4金曜日		4	4	23	1,983	24	2,123	
		おじんの唱歌教室	30	24	第2・4金曜日			5	—	—	24	305	
		詩吟教室	30	24	第1・3金曜日		4	4	48	667	24	362	
		写真教室	30	12	第3水曜日		4	4	11	150	12	182	
		民謡教室	20	24	第1・3金曜日		4	4	24	378	25	426	
		わいわい教室	—	48	毎週木曜日		5	5	42	582	38	482	
		青空教室	20	24	第1・3金曜日		4	4	24	274	24	350	
		健康麻雀教室	—	—	毎週火・第4金曜日		4	4	58	1,102	58	1,222	
		初めての麻雀教室	10	24	第2・4木曜日			5	—	—	24	328	
		小計		96	—	—	—	—	324	6,378	350	6,887	
		計		240	—	—	—	—	468	7,718	493	8,231	—

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H24年度	H25年度					
自立生活維持支援事業	1	運動教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	体を動かす教室についても、いずれも定員に達しており、参加者数は安定している。ただし、参加者のほとんどが女性である。 健康アップ教室は、数年前より定員を35名から50名に増やしているが、それでも希望者が多く抽選を行っている。 ヨガ教室は24年度までは「生き生き教室」と称してOTによるリハビリ教室を行っていたが、参加者が減ってきたため、一般利用者向けのヨガ教室へ移行した。ちなみに26年度からは、男性利用者を確保すべく「男のヨガ」を発足している。
		健康アップ体操教室	50	48	毎週金曜日	各種運動を通じて、健康増進や体力作りを行うことによって、自立した生活が維持できることを目指す。	4	4	44	1,728	43	1,734	
		軽運動教室	40	24	第1・3木曜日		4	4	24	763	24	812	
		座ってガッツリ体操教室(やろまいか)	20	24	第1・3水曜日		4	4	24	460	24	486	
		フラダンス教室	25	24	第2・4月曜日		4	4	24	282	24	291	
		ヨガ教室	20	24	第2水曜日		4	5	12	78	12	306	
		卓球クラブ	10	24	第2・4月曜日		4	4	23	196	21	229	
		小計		168	—	—	—	—	151	3,507	148	3,858	料理に興味がある男性が年々増えている。平成26年度は定員を3名超過。設備の関係でこれ以上の受け入れは困難。
		その他教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
		男の料理教室	20	12	第2木曜日	仲間と楽しく料理作りを行うことによって、料理と栄養に関する知識の向上を目指す。	4	4	12	201	12	240	
		小計		12	—	—	—	—	12	201	12	240	
		計		180	—	—	—	—	163	3,708	160	4,098	

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H24 年度	H25 年度					
多世代交流事業	1	各種イベント	定員	回数	実施日	ねらい 子ども・高齢者・障がい者等誰もが参加できるような事業を開催し、多世代交流や利用者間交流を図る。		実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	複合施設のメリットを活かし、児童センター、母子センター、障害者センター、デイサービスセンターとの共催が中心である。どのイベントも恒例行事となっており、知名度とともに参加者も増えている。 流しそうめんについては、当日雨天となったため、参加者が減少した。 ふれあい作品展についても、ふれあい福祉まつりが悪天候により中止となったため、まつりの参加者を呼び込めなかった分、前年度と比較して来館者が減少した。
		流しそうめん	—	—	8月1日							
		夏祭	—	—	8月8日							
		七夕まつり	—	—	6月27日～7月7日							
		敬老週間	—	—	9月9日～9月14日							
		運動会	—	—	10月10日							
		ふれあい作品展 (in ふれあい福祉まつり)	—	—	10月26日～11月1日							
		お茶会	—	—	1月5日							
		老人センターまつり	—	—	2月28日～3月1日							
		卓球大会	—	—	3月27日							
		計			—	—	—	9	3,364	9	3,587	—
地域交流事業	1	移動老人センター	定員	回数	実施日	ねらい 身近な地域で健康講座や季節行事を行い、地域の仲間づくりや閉じこもりを予防する。		実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	平成25年度は、多悠連の単位クラブと協力して、新たな拠点で活動できた。
		坂上児童館	—	—	6月24日 11月25日 3月10日							
		ジョイフル多治見	—	—	8月24日							
		多治見勤労者センター	—	—	2月14日 3月14日							
		計			—	—	—	4	111	6	164	—

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						H24 年度	H25 年度					
個人利用	1	各種	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	平成25年度より浴場が廃止となったため、利用者の顔ぶれが少し変わってきた。 血圧は、測定器が故障して測定者のカウントができなくなったため、正確な利用者数が把握できなくなった。 運動意識の高まりのためか、運動機器（ルームランナー、エアロバイク等）の利用者が増えている。
		血圧	—	—	—	4	4	—	7,941	—	5,621	
		カラオケ	—	—	—			—	16,537	—	11,468	
		ヘルストロン	—	—	—			—	18,084	—	17,025	
		運動器具	—	—	—			—	1,289	—	1,664	
		その他	—	—	—			—	10,041	—	8,469	
		計			—	—	—	0	53,892	0	44,247	—
老人クラブの支援	1	各種	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	多悠連の行事に参加・協力し、連携を図ってきた。社協が地域福祉事業を推進していく中で、関係団体の1つとして、さらなる連携強化が必要である。
		カラオケ教室	—	—	毎週火曜日	5	5	24	1,113	24	1,046	
		多悠連総会	—	—	5月10日			—	—	—	—	
		多悠連軽スポーツ大会	—	—	5月23日			—	—	—	—	
		多悠連芸能祭	—	—	9月21日			—	—	—	—	
		多悠連合同作品展	—	—	3月3日～3月7日			—	560	—	605	
		計			—	—	—	24	1,673	24	1,651	—
労生支業援及事 業就	1	相談事業	定員	回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	具体的な職業をすぐに斡旋できないために、相談につながらない。
		高齢者就業相談	—	12	第2金曜日	4	4	12	6	12	5	
		計		12	—	—	—	12	6	12	5	—

項目	区分	具体的内容		目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
							H24年度	H25年度					
独自事業	2	その他教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	4月スマートフォン教室・小物作り 5月音楽療法・ずぼら料理 6月園芸・エコバック作り 7月振り込み詐欺講話 8月料理 9・10月スマートフォン教室 11月サンタ作り・干支作り 12月花餅作り・園芸・音楽コンサート 1月新春笑いヨガ 2月恵方巻き 3月スマートフォン教室・消費者被害講話 月2回の企画のうち、1回は専門の講師を依頼し、1回は職員が講師になるなど、季節感やその時々話題を取り上げて実施している。
		チャレンジ企画	—	—	随時	様々な企画を提供する中で、老人センターのPR及び教室の立ち上げに繋げていく。	5	5	13	298	23	485	
		小計		1,200	—	—	—	—	13	298	23	485	
		介護予防教室	定員	回数	実施日	ねらい			実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	継続利用者ばかりであったため、平成24年度にて一旦卒業させているため、参加者が減っている。
		にこにこ教室	—	48	毎週月曜日	要介護状態となることを予防し、運動器の機能低下の防止・向上することを目的とする。	4	4	44	469	43	269	
		あいあい教室	—	48	毎週水曜日				50	454	51	297	
		計		96	—	—	—	—	94	923	94	566	—

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 1:取消等を検討、2:不備が目立つ、3:若干不備あり、4:良好、5:期待以上

項目	区分	具体的内容	実施日		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
					H24年度	H25年度					
					ねらい		実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ ・ベビークラブ(さくら・たんぽぽ) ・ぴよぴよクラブ(あか・あお) ・ちびっこクラブ ・キンダークラブ	前・後期8回 (ベビーのみ5回)	目標回数:90回程度 乳幼児の親子が様々な活動に参加できる場を提供し、育児についての情報交換や仲間づくりを進めることにより子育てを支援する。年齢ごとの集団での親子遊び、集団遊びを通じて、楽しむ中で情報を得たり、仲間づくりをしたりすることによって子育てを支援する。	4	4			89	乳幼児 1813 小学生 0 中高生 1 大人 1712	乳幼児クラブでは、24年度より参加者が増えた。ベビークラブでは、人数の増加から2部制で実施した。保健センター・民生児童委員にクラブの補助を依頼し、兄弟でも安心して参加できるように体制作りに取り組んだ。
		② 自由参加型事業 ・たまびよサロン ・幼児あそぼう会 ・おはなしなあに	各月1回程度						40	乳幼児 583 小学生 25 中高生 0 大人 557	たまびよサロンでは、参加者も徐々に増え、幼児室では場所が足りないうちの回もあった。サロンのボランティアの方が、保健センターで呼びかけを実施してくれるなど、協力して実施できた。また、おはなしなあににも認知されてきており、参加者が徐々に増えた。
		③ 母親クラブの育成と支援 ・母親クラブ	月1回						12	乳幼児 122 小学生 53 中高生 5 大人 200	母親クラブでは、毎月1回の事業の実施ができた。母親同士の交流や行事参加などで協力していただいた。太平は、市内各地から利用に訪れるため、母親クラブとして地域に根付いた活動が難しいため、26年度は、解散し、ママクラブとして活動していくことになった。
		小計					147	乳幼児 2385 小学生 53 中高生 3 大人 2257	141	乳幼児 2518 小学生 78 中高生 6 大人 2469	

項目	区分	具体的内容	実施日		年度評価		平成24年度の実施状況			平成25年度の実施状況			取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価		
					H24	H25									
児童を対象とした事業	1	① 小学生クラブ ・一輪車クラブ ・子どもスタッフクラブ ・卓球クラブ ・ダンスクラブ	各クラブ 月2回程度	目標回数:100回程度 小学生のクラブを指導し、自主性や創造性を育て、協調性を養うとともに障がいのある児童も共に遊ぶことができる場をつくり相互理解を深める。	4	4				60	乳幼児	25	一輪車クラブでは、多治見まつりや一輪車交流会に参加したことで、他館のクラブの様子を見て、刺激になり真剣に練習に取り組めた。卓球クラブでは、老人センターとの大会、子どもスタッフでは、太平デイサービスと新規事業で凸凹デイサービスとの交流を実施した。		
		② 自由参加型事業（小学生） ・みんなであそぼう ・つくっちゃおう ・小学生おはなしなあに	随時								小学生	684			
											中高生	5			
				大人	24										
		③ 季節事業 ・母/父/敬老の日プレゼント作り・英語でおはなし会・科学工作・新一年生集まれ・科学あそび・ミニ運動会・小学生クリスマス会・バレンタインチョコ作り	月1回程度	102	乳幼児	10	124	乳幼児	53	みんなであそぼうを多く実施し、他学年で楽しめる環境作りに取り組んだ。また、おはなしなあにでは、年度の終盤は、新規でボランティアに依頼し、実施ができた。					
									小学生		392				
中高生	63														
大人	63														
小計										11	乳幼児	12	夏休みに新規事業で、スライム作り・10円ピカピカ大作戦を実施し、好評だった。プレゼント作りでは、小学生対象で土曜日のみの実施から、乳幼児親子から小学生対象の平日・土曜日実施に変更し、回数を増やしたところ、参加者が増加した。		
											小学生	125			
											中高生	4			
											大人	28			
多世代間交流事業	1	① 多世代間交流 ・デイサービス誕生日カード訪問・でこぼこ夏まつり・ふれあい豆まき会・多治見まつり・新春お茶会とお正月あそび・卓球大会・児童センター/中高生スペースまつり・花餅作り・中高生デイサービス交流・多世代間運動会・ハロウィンパーティー	月1～4回程度	目標回数:12回程度 行事や児童館まつりなど誰でもが参加できる行事を実施し、地域間及び多世代間の交流を深め、子どもが育つ環境づくりを地域ぐるみで取り組む。	4	4				18	乳幼児	76	新規事業で、多治見まつり参加や花餅作り、でこぼこ夏祭り、中高生のデイサービス交流を実施した。ふれあい豆まき会では、対象を小学生のみから、乳幼児親子まで拡大したところ、例年より参加が増え、とても好評だった。		
											小学生	305			
											中高生	28			
				大人	529										
		小計										18	乳幼児	76	
													小学生	305	
中高生	28														
大人	529														

項目	区分	具体的内容	実施日		年度評価		平成24年度の実施状況			平成25年度の実施状況			取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
					H24	H25							
一般来館者（乳幼児から大人）を対	1	① 一般対象 脳トレ・トランポリン・つくっちゃおう・映画会・親子でつくっちゃおう・ぬりえコンテスト・おたよりクイズ・ハロウィン（トリックアート）	随時	目標回数:50回程度 乳幼児から大人まで参加者を限定しない、日頃、誰でもが参加できる遊びや行事を実施し、初めての人の来館・参加を促すとともに、参加者相互の交流を深める。	4	4				103	乳幼児	228	一般対象事業では、今まで実施していた「つくっちゃおう」に加え、夏に乳幼児でも参加できるような内容「親子でつくっちゃおう」を実施し、幼児から小学生・大人までの交流ができ、好評で良かった。
		小学生		554									
		中高生		97									
		大人		185									
		小計					61	乳幼児	117	103	乳幼児	228	
						小学生	797	小学生	554				
						中高生	0	中高生	97				
						大人	113	大人	185				
子どもボランティア事業の実施	1	① 子どもボランティア ・子どもボランティア（館内清掃・チャレンジ番付手伝い）	随時	目標回数:12回程度 児童館内でボランティア活動の場を設定し、地域の子どもたちが、それぞれの地域で活動できるよう人材育成を進める。	4	4				37	乳幼児	1	参加人数は増え、仲間で意欲的にボランティアに参加する様子がみられた。片付けや、職員の手伝いなど積極的な姿がみられた。今後もボランティアのしやすい環境を整え、子どもたちの気持ち・姿をくみ取り、実施していきたい。
		小学生		138									
		中高生		0									
		大人		0									
		小計					55	乳幼児	0	37	乳幼児	1	※24年度と比べ、事業回数が大幅に減ったのは、カウント方法が変更になったため。
						小学生	135	小学生	138				
						中高生	35	中高生	0				
						大人	2	大人	0				

項目	区分	具体的内容	実施日		年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					H24	H25						
中高生事業	1	① 中高生の居場所づくり ・中高生理事会・鍋会・焼きそば作り・カード大会・みんなで遊ぼう・おもちゃパーティー・たこやきまつり	月1回程度	目標回数:6回程度 中高生等が乳幼児と接する機会を持てるようにするなど、次世代の子育て支援につなげていくため、地域に応じた事業の実施及び中高生等の居場所の確保に取り組む。	4	5			15	乳幼児	0	中高生理事会は、中高生スペースの利用者に声をかけイベントの企画・運営を行った。時間を合わせて参加する積極的な姿勢がみられた。26年度も中高生事業の一環として、中高生が主体となって活躍できる場を増やしていきたい。
		② ボランティアの育成 ・中高生ボランティア	月1～7回程度							小学生	10	
										中高生	80	
										大人	28	
		③ 次世代育成 ・幼児水あそび補助	夏休み期間実施						4	乳幼児	0	中高生スペースで行われたイベントの補助や、季節に応じた部屋の装飾品作りなどを行った。遊びに来ていた子ども、積極的にボランティア活動に参加できた。「普段はなかなかできない体験だから、また機会があれば参加したい」など、参加者の評判も良かった。
										小学生	6	
										中高生	69	
④ 中高生のスペース ・表現スペース ・パソコン	随時	357	大人	11								
			乳幼児	0	夏休みに幼児水遊びの補助をもらった。「小さい子はかわいかった」、「水遊び以外でも小さい子と関わるイベントを手伝いたい」などの感想をもらい、参加者に好評であった。26年度の夏休み期間には、水遊び以外のボランティア活動が出来るように告知していきたい。							
			小学生	0								
小計						19	乳幼児	30	407	乳幼児	2	※26年度から表現スペースとパソコンの利用を事業としてカウントしたため、事業回数、利用人数は増えています。
					小学生		71	小学生		18		
					中高生		991	中高生		1360		
					大人		77	大人		328		
子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談 子育て相談	随時	目標回数:10回程度 気軽に相談できる場や関係機関への相談窓口として相談を受ける。インターネットによる相談受付や専門員による相談の場を設定する。母子保健推進員・主任児童委員・保健センター・子育て支援センターとの連携を図る	4	4			64	乳幼児	71	子育て相談の件数増え、25年度は電話での相談もあった。場合に応じて保健センター・小学校と連携した。また、小学生の親からの相談や中高生からの進路相談なども増え、24年度よりよい環境作りができた。
		小学生								3		
		中高生								1		
		大人								68		
		小計					35	乳幼児	40	64	乳幼児	71
								小学生	2		小学生	3
								中高生	0		中高生	1
大人	36							大人	68			

項目	区分	具体的内容	実施日		年度評価		平成24年度の実施状況			平成25年度の実施状況			取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価					
					H24	H25												
地域の特性と活かした事業	1	① 地域交流 ・池田町屋公民館夏・秋まつり（あそびのブース参加） ・凸凹デイサービス訪問 ・北野保育園の年長さんとあそぼう ・サロンクリスマス会 ・地域伝統行事参加	月1回程度	目標回数:12回程度 児童館児童センターが所在している地域の特性を活かした事業を実施すること。	4	5				10	乳幼児	189	池田町屋公民館まつりでは、公民館に提案し、夏・秋共に子どもスタッフに加え、中高生もあそびのブースで参加した。北野保育園とは、水遊び2回、新規で3月に年長との交流をし、交流回数を増やした。サロンクリスマス会にも参加し、障がいを持った子ども達と交流でき					
		② 児童館相互の交流 ・チャレンジ番付 ・子どもスタッフまつり ・真夏のわくわくデイキャンプ ・一輪車クラブ交流会 ・一輪車クラブ合同練習	月1回程度								小学生	549						
											中高生	52						
											大人	316						
		③ イクメン支援事業 ・紙ヒコーキ大会（春・秋） ・なりきり！消防士！ ・ゴムでっぼうであそぼう	紙ヒコーキ 5/18、11/9 消防士 10/6 ゴムでっぼう 12/8							27	乳幼児	96	30	乳幼児	146	真夏のわくわくデイキャンプでは、25年度も大原児童館と合同で実施し、大変盛り上がった。26年度は、より地域で実施できるよう喜多緑地公園で単独で実施したいと考えている。		
												小学生			55		小学生	485
中高生	0	中高生	16															
大人	96	大人	252															
小計								470	431									
				938	1089													
				43	68													
				696	664													
自主事業（あれば記入してください）	2	① 自主 事業 ・赤い羽根共同募金事業 ・連れ去り防止教室 ・ふれあい広場（支援児親子あそびの広場） ・福祉体験（ガイドヘルプ・手話・サウンドテーブルテニス・ベタンク）	共同募金5/25 連れ去り防止7/25 ふれあい広場8/6、12/27、3/28 福祉体験は長期休み期間		5	5				7	乳幼児	66	ふれあい広場を年3回計画した。24年度から回数を増やし、チラシの提供の充実させたため、参加人数が増加した。福祉体験は、年4回実施し、中高生対象に新規事業として実施した。また、老人センター・包括支援センター共催事業に新規事業で参加し、連れ去り防止教室を実施した。					
		小学生	56															
		中高生	9															
		大人	110															
		小計								5	乳幼児	38	7	乳幼児	66			
												89			小学生		56	
				4	中高生	9												
				60	大人	110												

（留意事項） ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

※ 「年度評価欄」は、次の内容で記入。 1: 取消等を検討、2: 不備が目立つ、3: 若干不備あり、4: 良好、5: 期待以上

指定管理施設（総合福祉センター）事業評価表
母子福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H24 年度	H25 年度	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	
交 流 事 業	1	夏季交流事業 (地球村野外学習お泊り会)	2	6/29・6/30	キャンプ、社会見学、スキー・スノボツアー、スケート、新入学お祝い会、交流サロンなどを実施し、母子、父子、寡婦が各活動を通して親同士、子ども同士、親子がふれあい交流を深め合って横のつながりを図る。	4	5	2	54	2	69	0	15	子どものみを対象に企画。参加前は、不安や心配の声を聞いていたが、「参加したことにより子どもが成長できた」また、保護者も「友人と長時間おしゃべりできた」との感想をもらい親子共々リフレッシュできたようだった。
		社会見学 (郡上八幡食品サンプル工場)	1	6/9				1	47	1	38	0	△ 9	平成24年のアンケートで工場見学の希望が多数あり、食品サンプルで有名な郡上八幡へ行った。午前はサンプル作り、昼に郡上踊りの会場付近を散策・吉田川の河川敷にブルーシートを敷き弁当を食べる等して過ごした。午後は、大滝鍾乳洞を探検。天気も良く、親子が仲良くソフトクリームを頬張っている姿、親同士・子ども同士が交流している姿を目にすることができた。サンプルのおみやげもあり満足した様子だった。
		冬季交流事業 (スケート&大須探索バスツアー)	1	3/23				1	42	1	42	0	0	平成25年度は、冬季オリンピック開催もあり初めてスケートを企画。近場で気軽に参加できることもあり、今までスキーに参加できなかった方々が多数参加。午後からは、大須へ買物に行く保護者もあり「久しぶりに子どもと離れゆっくり買物ができリフレッシュできた」、また、子どもたちも「楽しかった」との感想。 しかし、毎年スキーに参加していた方からは「毎年楽しみにしていたのに…」との意見が何件もあった。「母親だけでは、雪山には連れて行けないから…」とのこと。 平成26年度は、スキー・スケートの両方を計画したい。
		新入学お祝い会	1	2/23				1	34	1	29	0	△ 5	情報誌に2回掲載・市内保育園・幼稚園にチラシを配布したが、応募者が集まらなかった。子ども支援課で個別に紹介してもらった方、またその友人。子ども習字教室の保護者からの紹介など、やはり口コミによるところが大きく、何とか6家族の参加となった。今後は、周知の方法を関係各所にご協力願いながら、ポイントを絞っていくなどもっと積極的にアピールしたい。
				小計		5	—		小計	5	177	5	178	0

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H24年度	H25年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
交流事業	2	<ひとり親家庭交流サロン>			キャンプ、社会見学、スキー・スノボツアー、スケート、新入学お祝い会、交流サロンなどを実施し、母子、父子、寡婦が各活動を通して親同士、子ども同士、親子がふれあい交流を深め合って横のつながりを図る。	4	5							<ひとり親家庭交流サロン> 前半は母子福祉センターのPRを兼ねて、ひとり親家庭の住まいが多い地域の旭ヶ丘児童センターと合同イベントを企画した。しかし、あまり周知しきれていなかったためか、内容に魅力がなかったのか参加者が少なく再度検討することにした。 後半その反省を踏まえ、今まで子ども又は親子での活動を中心に実施してきたが、新たに親同士が同じ思いを共有し交流できる場をつくり、横のつながりを深めてもらいたいと月に1回日曜日の午後～「おしゃべりサロン」を実施することにした。初回から「そろそろいい方がいたら再婚したい…でも出会いがなくて」と深い話になるなど悩みを共有し合うことが出来た。その後、市役所くらし人権課主催の婚活を利用者に紹介したところ「早速参加した」と喜んでもらえた。まだ参加者は少ないが、今後も利用者同士の和が広がりが活発に情報交換がなされ、不安を軽減してもらいたい。親が元気でいることは子どもにとって何より安心感を得られると思うので、親の支援も継続していきたい。
		ミニバック作り	1	4/8										
		糸のこ教室	1	4/29										
		マレットゴルフ交流会	1	5/12										
		かりんとう作り&宝探し	1	5/26										
		編物ジュジュ作り	1	6/2										
		アイロンビーズ作り	1	6/23										
		パソコンで年賀状作り	1	12/1										
		クリスマスお楽しみ会	1	12/14										
		プレゼントチョコ作り	1	2/8										
		おしゃべりサロン	3	1/26・2/2・3/2				6	126	12	150	6	24	
		<多世代交流事業>												
		わくわくキッズクラブ手話(デイ)	18	7/22～8/23										
		わくわくキッズクラブ卓球(老人)	1	7/24										
		ぶっかけそうめん(老人・障害・児童・デイ)	1	8/1										
		ふれあいセンター姫祭り(老人・児童・デイ)	1	8/23										
		ハロウィンパーティー(児童・デイ)	1	10/19										
		しめ縄作り(寡婦)	1	12/21										
		新春お茶会(老人・児童・デイ)	1	1/7										
		節分お楽しみ会(児童・デイ)	1	2/1										
		小計	37	—		小計		13	679	37	1,009	24	306	<多世代交流事業> 平成25年度は、デイサービスで帰りの日課になっている歌と手話の活動にわくわくキッズクラブ(夏休み学童保育)の子供たちも一緒に参加し、デイサービスの利用者と交流をした。初めは恥ずかしがっていたが、夏休みが終わりに近づく頃になると、みんな前を向いて堂々と歌いながら手話をしていた。姉弟が参加している親さんより「家でも私に手話を見せてくれて嬉しかった」と家庭での様子を聞いて、この取り組みは今後も継続していきたいと思った。 また、老人センター卓球教室にも一緒に参加させてもらい交流を深めた。 その他毎年恒例の行事であるが、それぞれ複合施設の特徴を活かし、老人・障害・児童・デイ各センターの利用者との交流を季節ごとに実施することができ、お互いが良い影響を与えられたと思う。今後も他センターと共催で行事を行い多世代と交流できる場を設けていきたい。
		計	42	—	—	—		18	856	42	1187	—	—	—

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H24 年度	H25 年度	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	
自立促進事業	1	パソコン教室 資格取得者	48	火曜日 夜	技能や知識を習得し、就業・資格取得につなげる。また、横のつながりを深め交流する機会を設ける。	4	4	48	498	48	396	0	△ 102	平成25年度、資格取得者の教室が先生の都合により、木曜日から火曜日に変更になったため継続の受講生が数人來れなくなってしまう人数が減少した。 また、全体的に受講生は、ひとり親・寡婦は少なく一般の方がほとんどである。平成26年度は、夜の教室で託児していることを周知し、受講生を確保したい。
		パソコン教室 応用	24	第1・3 水曜日 夜				24	269	24	210	0	△ 59	
		パソコン教室 基礎	48	木曜日 昼				48	449	48	465	0	16	
		小計	120	—		小計		120	1,216	120	1,071	0	△ 145	
		計	120	—	—	—	120	1,216	120	1,071	—	—		
趣味・教養講座	1	お茶・お花教室	12	第1 水曜日 昼	趣味・教養の講座を開催し、技能や知識の習得をする。また、横のつながりを深め交流する機会を設ける。	4	4	12	151	12	158	0	7	毎回、花と菓子代の集金、活けた花の写真印刷など他の教室に比べ職員が関わることが多いが、机の準備・片付けなどは当番を決めて受講者が行っている。新人・継続受講生共に助け合い1年間定員に達していた。
		書道教室	24	第1・3 月曜日 昼				24	216	24	245	0	29	先生を慕っての受講生が多く、新人が入ると継続受講生が教室からサークル活動へ移っていくなど、先生の運営協力のお蔭で良い雰囲気で行われている。既に2つのサークルが存在する。
		ペン習字教室	24	第1・3 水曜日 昼				22	226	24	236	2	10	仕事の関係で、毎回残り30分に来て添削してもらっただけの方など、先生が無理なく楽しんで受講できる雰囲気作りをしてくれているので教室全体が明るい。
		布ぞうり作り教室	24	第1・3 月曜日 昼				24	166	24	178	0	12	平成25年度、新規に2人入ったが、先生・継続受講者みんなが盛り立てて指導にあたり、秋の作品展に出品することができた。教室の雰囲気は良いが定員に達していないので、新規受講者を増やす努力が必要である。
		子ども習字教室	24	第1・3 木曜日 夜				22	297	24	335	2	38	子どもたちが受講している間、付き添いの親同士が交流しあったり、母子福祉センターのお知らせを伝えたりする貴重な場となっている。また、ここで親さんから直接耳にした意見は、とても参考になり有難い。
		ヨーガでリラックス教室	24	第1・3 木曜日 夜				24	212	24	175	0	△ 37	ひとり親家庭の子どもが習字を習っている間、親はヨーガ教室へ…という企画で設定した講座であったが、後期ひとり親受講者は0になってしまった。また、定員に達していないこともあり、教室自体を見直し検討する必要がある。
		爽快教室	11	第2 水曜日 夜				12	101	11	86	△ 1	△ 15	運動・園芸それぞれを4回ずつ・料理を3回実施したが、園芸だけ参加の方が多いなど内容によってバラつきがあった。また、ほとんどの方が当日受講料支払いの為休む方も多く、来年度は一旦辞め検討することにした。
		サークル活動 4団体 (パソコン1・布ぞうり1・書道2)	84					84	774	84	683	0	△ 91	布ぞうりサークルが2年目になり施設料が有料になったため人数が減少。しかし、他のサークルも含め引き続き意欲的に活動をしている。今後も教室終了後など継続を希望でありながら、定員から漏れた方に紹介をしていきたい。
		小計	227	—				小計		224	2,143	227	2,096	3
		計	227	—	—	—	224	2,143	227	2,096	—	—	—	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		平成24年度の実施状況		平成25年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	H24年度	H25年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
夏季育成事業	1	わくわくキッズクラブ・同窓会	20	夏休み20日間	親が夏季休暇中も安心して仕事ができるように預かりを行う。また、子どもは、規則正しい生活の中で、いろいろな体験活動を行うことで健全育成を図る。	4	4	25	411	20	329	△ 5	△ 82	平成24年度は1年～4年生11人が参加していたが、平成25年度は1年～3年生＋兄弟の5年生9人が参加。また夏休み明けの始業も早くなったため期間を5日短くし料金を6,000円→4,000円にした。 参加者の中に2人特別支援学級に在籍する児童がいたため学校・保護者との連携を密に行い、活動場面でも本人が理解・納得ができるよう毎朝ボードで日課の説明・具体的な表現をするなどの配慮を心がけた。学校では登校しぶりがあるようだったが、トラブルも多かったもののほとんど毎日参加できた。また、他の参加者にとっても良い効果が生まれ積極的に取り組めた。 福祉センターまで児童を送迎しなければならないこともあり、運転できない祖父母など遠方の方が利用できないのが課題である。現状、参加者のほとんどが池田・小泉校区で福祉センター近くばかりである。
		小計	20	—				25	411	20	329	△ 5	△ 82	
		計	20	—	—	—	—	25	411	20	329	—	—	
相談業務	1	子育て相談	6	随時	ひとり親家庭の自立生活を手助けする。	5	4	5	5	6	6	1	1	相談は、面接・電話・メールで行った。 子育ての悩みや就労、資格取得・貸付など様々な相談があった。その都度、一通り内容を聞き、必要に応じて子ども支援課の母子自立支援員へつないだり情報提供を行った。就労に関して、母子自立支援員とハローワークが連携するなど素早い対応に相談者も喜んでいて。 月に1回福祉センターで開催される、母子自立支援員による「ひとり親相談(市事業)」の周知を兼ね母子自立支援員に交流事業に参加してもらい顔つなぎを行っている。
		生活一般相談	13	随時				6	6	13	13	7	7	
		小計	19	—				11	11	19	19	8	8	
		計	19	—	—	—	—	11	11	19	19	—	—	—
自母子自立支援給付金の情報提供	1	情報提供	5	随時	適職に就くための資格・技能取得を目指すひとり親を支援する制度を周知する。	5	4	6	6	6	6	0	0	相談の3分の1は、就労、資格取得・貸付などであり、その都度、一通り内容を聞いた後に制度を紹介した。しかし、対象要件・対象資格などの要件があるため実際に制度を利用されるまでには至っておらず残念である。 また、ほとんどの相談者が制度を知らなかった。折角の制度なので、交流事業の際には周知していきたいと思う。
		小計	5	—				6	6	6	6	0	0	
		計	5	—	—	—	—	6	6	6	6	—	—	—

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

※「年度評価欄」は、次の内容で記入。

1: 取消等を検討、2: 不備が目立つ、3: 若干不備あり、4: 良好、5: 期待以上